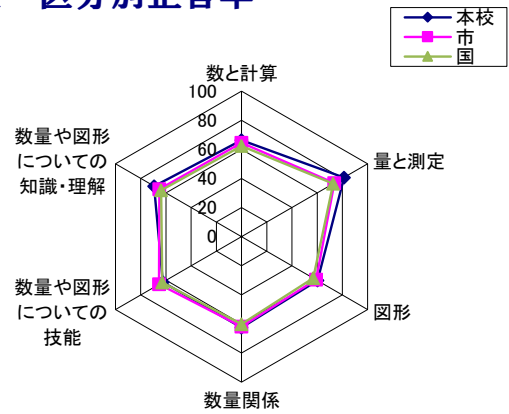


宇都宮市立瑞穂野北小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

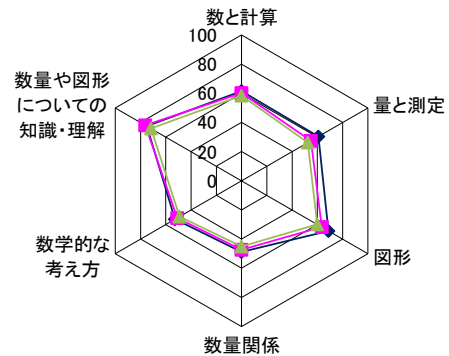
【算数A】

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 国 |
| 領域 | 数と計算 | 66.3 | 64.5 | 62.3 |
| | 量と測定 | 81.3 | 73.6 | 72.7 |
| | 図形 | 60.4 | 59.1 | 56.9 |
| | 数量関係 | 62.5 | 61.8 | 60.1 |
| 観点 | 算数への関心・意欲・態度 | | | |
| | 数学的な考え方 | | | |
| | 数量や図形についての技能 | 62.5 | 65.5 | 63.0 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 69.4 | 65.3 | 63.8 |



【算数B】

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|----|-----------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 国 |
| 領域 | 数と計算 | 61.5 | 60.2 | 58.4 |
| | 量と測定 | 60.9 | 55.0 | 52.4 |
| | 図形 | 68.8 | 63.5 | 59.9 |
| | 数量関係 | 48.8 | 47.3 | 45.1 |
| 観点 | 算数への関心・意欲・態度 | | | |
| | 数学的な考え方 | 52.8 | 51.0 | 49.2 |
| | 数量や図形についての技能 | | | |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 75.0 | 76.2 | 71.7 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------|---|---|
| 数と計算 | <p>平均正答率は、算数ABともに全国平均を上回っている。</p> <p>○折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を求める問題の正答率が全国平均より高い。</p> <p>●1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表す問題の正答率が低い。</p> | <p>・文章問題を考えるとき、数量関係を数直線で表す活動を取り入れていく。</p> <p>・授業ばかりではなく、朝の学習や家庭学習でも、計画的に問題に取り組みませ習熟を図る。</p> |
| 量と測定 | <p>平均正答率は、算数ABともに全国平均を上回っている。</p> <p>○すべての設問において、全国平均を上回っている。</p> | <p>・重さや長さ、角度など、実際に量を測定する活動を通して、実感を伴った学習ができるように心がけていく。</p> <p>・答えを導き出した理由を、算数の用語を意識して使い表現させるなど、言葉で記述できる力を今後、育てていきたい。</p> |
| 図形 | <p>平均正答率は、算数ABともに全国平均を上回っている。</p> <p>○図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの輪が360度になっている理由を記述する問題の正答率が全国平均より高い。</p> <p>●円周率についての意味の理解が不十分である。</p> | <p>・作業的・体験的な活動を通して理解できるようにするとともに、図形の念頭操作にも慣れるように実物や映像を効果的に使って指導にあたる。</p> <p>・円周率の意味については、再度確認をする。</p> |
| 数量関係 | <p>平均正答率は、算数ABともに全国平均を上回っている。</p> <p>○メモの情報とグラフを関連付けて読み取る問題では、正答率が全国平均より高い。</p> <p>●棒グラフや帯グラフの読み取りにおいて課題が見られる。</p> <p>●百分率を求める問題の正答率は、全国平均より15ポイント低く、37.5%にとどまった。</p> | <p>・統計的な処理の目的やよさについて実感させながら、資料の収集・分類・整理ができるようにし、様々なグラフから情報を読み取る経験を積ませる。</p> <p>・日常生活で割合の用いられる場面を具体的に示し、百分率で表すことの意味を正しく理解できるようにする。</p> |